

GW 前半立山山行報告

2019年4月28日～4月30日

参加者

テント：和佐、中村、永岡、山本、内田

小屋泊：藤田、成田、小島

小雪の今年でも立山ならば雪は問題ないだろうということでGW立山山行を計画したところ10名の参加予定となったが、キャンセルが続いて結局8名車2台での出発となった。

4/28 快晴

朝4時くらいに立山駅到着。すでに多くの車が駐車していて6時始発のケーブル乗車券を狙ってか多くの方が寒空の中列をなして順番待ちしているとのこと。

準備をして長い長い列に並んでなんとか6:30発の室堂までの往復切符を購入(4310円)。美女平で除雪待ちを強いられ、室堂到着が8時過ぎ。登山届とともに情報収集して、テント場と雷鳥荘に出発。新雪だが日差しで温められて、ソールに団子になってしまいスキーが滑らない。

テント泊の重荷とともに苦勞しながらテント場に到着して、テント設営(2泊以上1000円)。

小屋泊組と合流して(10:40)、ここから雷鳥沢方面に6名、山崎カール方面に2名に分かれて行動。

快晴の日差しにゆるんで柔らかくなった雷鳥沢を登る。何度かの休憩を入れて剣御前小屋に到着が13:15。

ここから剣に向かって有志5名で緩やかな剣沢を滑走(13:40)。柔らかい新雪が残っていて、きれいなシュプールを描くことができた。すぐに傾斜が緩くなって滑走終了し、剣を背景にした証拠写真を撮って登り返し(14:10)。

御前小屋から雷鳥沢に入るもすでに雪は重くなっていて、苦勞しながらも急斜面の滑降をこなしていく。

このような悪雪でも、先日教えてもらったスピードを出してのテール滑りを心がけると何とか気持ちよく滑ることができる場面もあった？ テント場到着が15:10。

【ヤマレコ記録】

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1818341.html>

4/29 晴れのち曇り

雪が緩むのを待って8:00テント場を出発。雷鳥荘で小屋泊3名+小田さんら4名と合流し、一の越を目指す。ブル道をたどるとくたってしまうので、仕方なく急斜面をトラバース気味に横断していく。

デブリを超えたあたりで室堂からのトレースに合流し、一の越へ。途中固くなってきたのでク

トーをつけて安全に到着 (10:20)。この日は風もなく天候はよいが、やや雲が多くなりはじめてきた。

雷鳥が何匹も登山者のごく近くまで近寄ってきて鳴いており、写真に納まっていた。

ここから御山經由御前谷滑降 3 名、小田さんチーム 4 名と別れ、4 名で御山谷+タンボ平を目指す。

御山谷の雪は緩いんでいるが、重くクラストもあって相変わらず滑りにくい。標高 2550m までわずかに滑って、東一の越目指してトラバース開始。途中の岩場でアイゼン方向に切り替えて東一の越まで(11:40)。

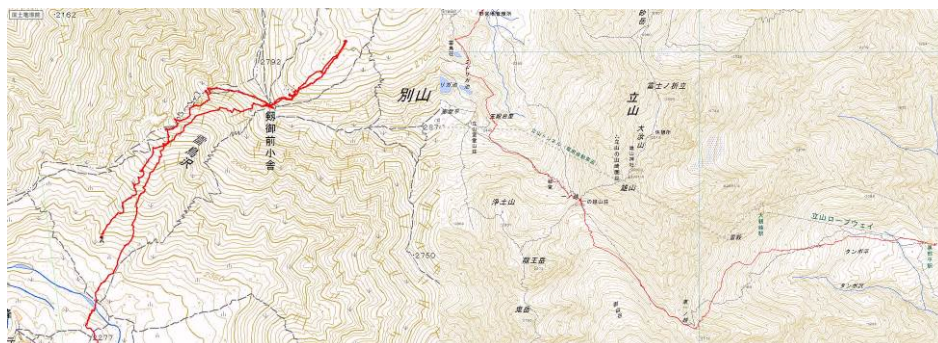
ここから広く適度な斜面を滑るが、なにせ雪が重く、左右からのデブリで滑降ルートも限定されている。

ここでも雪になれないメンバーは苦勞しているが何とか滑り降り、緩斜面で写真を撮って、黒部平駅に到着が 12:45。すごい人混みの中、室堂までのロープウェー整理券を入手し(3460 円)、約 2 時間待ち。

3 時過ぎに室堂に帰ってきて、テント場に到着したのは 16 時前であった。御前谷滑降 Gr も無事テント場で合流。

天候が怪しくなり、29 日晩には雨、雪が激しくテント泊は大変であった。

翌日以降も雨当の悪天予報なので予定を切り上げ、30 日早々にテントを撤収し、室堂に戻り、16:00 には帰神戸。



1 日目のコース

2 日目のコース



剣沢にて



Y氏



F氏



K氏



東一の越に向う岩場



雷鳥テント場